

＜図工＞改善のポイント

（1）現状の分析

多くの児童が楽しみながら意欲的に活動しており、友達の活動や作品に関心をもって鑑賞することもできている。しかし、実際に手を動かして作業することは得意だが、自分で想像し、どう表現したらよいか考えることが難しい児童もいる。そのイメージに向けてどうやったらよいか見通しをもって作業の順番を組み立てていくのが難しい児童もいる。また、テーマに合わせ、表したいことを考えるのに時間がかかる児童も見られる。課題を時間内にしっかりと完成させるという意識が足りない児童もいる。

（2）課題

1	つくりたいものに合わせて想像を広げ、表したいものを決めることに課題がある。
2	つくりたいものに向かって自分で考えて試行錯誤し、粘り強く取り組む姿勢を身に付けさせたい。
3	隣の友達と協力して準備、制作、片付けなどを行い、教え合ったり助け合ったりできるようにする。

（3）授業に取り入れたい改善策

1	導入では、作品例を見せたり、どんなイメージをもつか話し合う時間を取ったりする。
2	教師が教えることと児童が主体的に活動することのバランスをよく見極め、児童が主体的に活動しやすい題材設定を行いながらも、この時間でここまで作業しようという時間配分を提示する。
3	ペアやグループなど協力して活動を行うよう指導する。

R	5	観 点		
学 年		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	現 状	<ul style="list-style-type: none"> 紙やハサミ、のり、クレパスや絵具に慣れ、手や体全体の感覚を働かせている。 いろいろな形や色に気付いている。 絵を描くことに抵抗がある児童がいる。 用具を片付けることが苦手な児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 感じたこと、想像したいことから表したいことを見付けている。 発想豊かにのびのびと作品制作に取り組める児童が多いが、悩む児童もいる。 	<ul style="list-style-type: none"> どの題材にも興味・関心をもって取り組んでいる。特に立体作品の制作に意欲的に取り組んでいる。友達と一緒に作ることを楽しんでいる。 友達と一緒に作ることは楽しんでいるが、友達と見合う機会が少ない。
	改 善 の ポ イ ン ト	<ul style="list-style-type: none"> 四つ切りで描いた絵を八つ切りに貼ったり、色画用紙を背景にして絵を描いたりして、提示する紙を工夫する。 正しく適切に用具を使うこと、安全に使うことを意識させ、整理整頓して片付けるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 発想に悩む児童には、スモールステップで指導する。 感じたこと、想像したいことが表現したいと意欲をもてるように、授業の導入を工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> 作品の完成後、自他の良さや自分自身の感じ方を確かめ合う時間を設定する。 仕上がった作品は、できるだけ展示し、鑑賞できる環境をつくる。
2	現 状	<ul style="list-style-type: none"> 丁寧に仕上げたり、細かい作業を行ったりすることが苦手な児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> すぐに手を動かして発想できる児童が多いが、課題の意図を考えながら制作することが難しい児童もいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 意欲的に活動しているが、落ち着いて取り組むのが難しく、支援が必要な児童も見られる。
	改 善 の ポ イ ン ト	<ul style="list-style-type: none"> はさみ、のり、テープなどの用具を、適切な方法で使えるように説明する。 	<ul style="list-style-type: none"> 制作前に下描きや練習をさせてから取り組ませる。完成の形を考えながら取り組ませる。 	<ul style="list-style-type: none"> 活動の時間や話を聞く時間などを区切り、切り替えて活動を行う。
3	現 状	<ul style="list-style-type: none"> 技能面に個人差が出ており、丁寧に仕上げたり、細かい作業を行ったりす 	<ul style="list-style-type: none"> すぐに手を動かして発想できる児童が多いが、課題の意図を考えながら制 	<ul style="list-style-type: none"> 制作に意欲的に取り組んでいるが、活動内容を把握しておらず、教師や周りに聞

		ることが苦手な児童がいる。	作することが難しい児童もいる。	く児童が多い。
	改善のポイント	・つくり方を見せながら制作の例を示し、児童が自分で取り組めるようにする。用具の正しい使い方を繰り返し指導する。	・制作前に下描きや練習をさせてから取り組ませる。制作の途中で活動のめあてについて確認する。	・指導は簡潔に行い、板書や掲示物などを用いて見てわかるように示す。自分から活動ができるように繰り返し指導を行う。
4	現状	・のこぎりや金づちなどの道具を安全に使って活動できているが、教師や周りの支援が必要な児童がいる。	・表したいものがなかなか決められず、制作を始めるまでに時間がかかってしまう児童がいる。 ・作品が小さくなってしまいう児童がいる。	・意欲的に活動しているが、難しい活動になると消極的になってしまう児童が見られる。
	改善のポイント	・道具の使い方を掲示したり、実際に使い方を示したりして、使い方を定着させる。座席の場所を工夫し、支援しやすい環境をつくる。	・授業の導入で見本や例を見せながら、活動のめあてについて確認する。周りとは相談したり、意見を共有したりする時間を設ける。 ・途中で制作のテーマについて確認しながら、創意工夫できるようにする。	・分かりやすい説明を行うとともに、個別支援を手厚く行う。
5	現状	・基礎的な技術が身につけており、丁寧に制作に取り組んでいるが、進度に差が出ている。	・作品完成までの見通しをもって計画的に制作するのが難しい児童が見られる。	・全体的に意欲的活動している。
	改善のポイント	・活動の際に近くの人で協力して活動したり、分からないところを教え合ったりできるようにする。机間指導で、進度に合わせた助言を行う。	・毎時間、制作過程の目標を立て、達成できるように確認しながら進める。	・進度の早い児童がさらに作品の完成度を上げられるように支援する。
6	現状	・基礎的な技術が身につけている児童も見られるが、技能に差がある。	・作品完成までの見通しをもって計画的に制作するのが難しい児童が見られる。	・意欲的に取り組んでいるが、自分の作品に自信がない様子が見られる。 ・創意工夫し、粘り強く取り

			組むことに課題がある。
改善のポイント	<ul style="list-style-type: none"> 制作の例や作り方を実際に見せる。机間指導で、個別の支援を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 活動時間を確認し、計画を立てて制作するようにする。題材のテーマについて確認しながら制作するようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分で考える時間と、友達の作品を見たりアドバイスをもらったりする時間を分けて、自分の作品と向き合う時間を十分にとるようにする。 活動の途中に様々な用具や方法を提示し、発想が広がるようにする。